

# 令和 5年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野金剛霊殿

指定管理者名：富士建設工業株式会社

## 1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

### 評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

## 2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0	0	
	自主事業収入	84,000	97,165	(13,165)	115,123	
	物品販売収入	0	0	0	0	
	手数料収入	0	0	0	0	
	指定管理料	53,144,000	53,144,000	0	53,087,000	
	その他収入	0	0	0	0	
	<b>収入総額</b>	<b>53,228,000</b>	<b>53,241,165</b>	<b>(13,165)</b>	<b>53,202,123</b>	
支出	人件費	21,378,000	24,377,430	(2,999,430)	23,156,364	
	事務費	1,869,000	1,092,408	776,592	1,211,976	
	管理費	15,357,000	15,166,120	190,880	15,021,290	
	自主事業経費	122,000	14,958	107,042	14,569	
	光熱水費	13,587,000	19,491,785	(5,904,785)	20,777,175	
	リース料	915,000	789,360	125,640	789,360	
	その他	0	0	0	0	
	<b>支出総額</b>	<b>53,228,000</b>	<b>60,932,061</b>	<b>(7,704,061)</b>	<b>60,970,734</b>	
<b>収支差額</b>	<b>0</b>	<b>(7,690,896)</b>	<b>7,690,896</b>	<b>(7,768,611)</b>		

## 3. 総合評価

## 自己評価

火葬件数は年々増加しており、令和6年1月は過去最高月間件数となりました。そのような時でも施設利用者への公平なサービスの提供ができるように心がけ、施設利用者からの苦情をいただくことはありませんでした。年間需要は、右肩上がりになることが予想されます。人生終焉の場として厳かな空間を提供できるよう、引き続き職員の技術研鑽を積み重ね、市民サービスの向上を図ります。また、簡易告別式や霊安室利用も葬儀業者に徐々に浸透してきました。葬祭業者のニーズに対応できる態勢を継続します。火葬炉運転業務は、火葬炉メーカーとして環境に配慮して1年間を通じて無事故で運営することができました。火葬炉運転業務が安全に運営できるよう、引き続き予防保全に努めます。

収支におきましては、昨年度に続き原油価格高騰や円安などの経済影響を受け、電気料金やガス料金が上昇し、光熱水費が想定以上に必要となりました。また、昨年度に発生した落雷による設備故障も本年度に全て復旧できました。これらの事より、支出金額が大幅に必要となりました。光熱水費の節電や事務費など削減し、赤字費用を解消するように努めました。また、市より国からの補助金を補填していただきました。しかしながら、大きな赤字金額を補填することができませんでした。施設利用者にもご不便をおかけしましたが、引き続き苦情をいただくことはありませんでした。

令和5年度は、原油価格高騰による光熱水費の負担が大幅に増加し、収益を圧迫する中、火葬炉メーカーのノウハウを生かした火葬炉運転の効率化等、経費削減に努められた。また令和4年度の落雷による機器故障は全面復旧したが、新たに落雷が原因による機器不具合が発生する等、厳しい外的要因が続くなか、臨機応変に対応いただき大きなトラブルなく、無事火葬業務を執行できたことは高く評価できる。

サービス面においては、定期的な社内研修や朝礼でのヒヤリハットの共有等、質の高いサービスの提供を心掛けている点等も高く評価できる。

令和6年度においては、火葬件数の増加や原油価格の高騰等から、引き続き光熱水費の負担が予想されるが、ノウハウを存分に生かし、効率的な施設運営とともに厳正な内部事務に努めながら、質の高い管理運営業務を遂行していただくことを期待する。